

## 1 学年対象に保健講話を実施しました。

1 年生が人間と社会の授業で「助け合う社会を支えるひとりになる」というテーマで、講演会を聞きました。

(講師) 日本赤十字社 血液センター 矢澤 幸雄 先生

(主な講演内容)

- ・日本赤十字社の活動内容
- ・がんという病気の特性
- ・がんやその他の病気と輸血との関連
- ・医療現場や患者さんの願い
- ・血液の特性
- ・献血のしくみ、献血ルームについて
- ・助け合い、支えあう社会について

(生徒の学び・まとめや感想)

・今日のお話から1回の献血でたくさんの命を救うことができると改めて感じたので、献血をやってみようという前向きな気持ちになりました。輸血は病気の治療に一番に使われることを知り、人の血は本当に必要なのだと思いました。今日得た知識をたくさんの人に広めたいと思います。助け合いの大切さを知ることができました。

・「他の誰かがやる」ではなく自分がその誰かになれるように頑張っていきたいです。

・以前から父が献血に行っていて、やってみたいという気持ちと怖いという気持ちがありました。今日の動画を見て怖さはなくなり、献血に行ってみたいと思いました。

・自分のちょっとした行動で人の命が一つでも多く救えるのだと思いました。献血ルームがすごくきれいで、これなら来たいと思う人がたくさん増えてきそうだなと思いました。

・ヘルプマークを付けている人にどのように声をかけるのか、何ができるのかをよく考えられるようにしたいです。

